

第1回新クリーンセンター施設・周辺整備協議会資料

2011.10.27 作成：村井

新施設の配置、動線について考慮すべき点を以下にまとめました。

1. エコセンター（仮称）内の市民が利用できる動線について

事例で見学した新しい焼却施設は、日常的に人が出入りできる部分が多くありました。見学者動線だけでなく、日常的に立ち入ることができる動線が重要です。敷地に限りがあるため、東側（エコセンター）では地上部は車動線しかできないようですが、南側（市役所側の歩道を広げることや、北側（野球場側）にテラス（人工地盤）を巡らせ外周を繋げる工夫が必要です。

2. 南北をつなぐ園路について

現在の配置計画では、中央に南北の動線をつくる余地がなさそうです。北側のテニスコートから、芝生広場へ入るゲートをつくるのが有効でしょうが、テニスコートの再配置（多少クリーンセンターへ割り込むことも含めて）は可能でしょうか。

3. 西側の顔づくりとスポーツ施設との融合について

テニスコートの再配置に絡み、エコセンター西側は、緑町コミセンからクリーンセンター西南角まで、プロムナードにして骨格をつくり、NTT資料館の入口やパークタウン歩道の入口、市役所角を総合的にデザイン、再整備することで、こちら側の顔ができるのではないかと思います。

